

平成30年度 事務事業評価(議会)  
(平成29年度決算)

分科会評価結果

分科会名	文教分科会		整理番号	文教-3				
事務事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業							
評価区分 (事務事業の方向性)	1	拡充	2	継続	3	終期設定し終了	4	休止・廃止

〈上記評価区分とした理由、改善内容、提案事項等〉

本事業は、不登校やいじめなど生徒指導上の課題への対応が求められる中、社会福祉等の専門的な知識・技術を有するスクールソーシャルワーカーを学校に配置し、学校における教育相談体制の整備、充実を図ることを目的としている。

児童生徒の抱える課題について、早期の改善、解決を図るためにも、本事業の必要性、妥当性はともに高いことが認められる。

相談対応延べ件数は毎年増加し、相談内容も複雑化してきていることから、福祉部門等との連携をより一層強化し、スクールソーシャルワーカーの増員や正規職員の配置増を検討するとともに、その資質の向上を図ることなどにより、教育相談体制をさらに充実させることを求め、拡充とした。